



2020年5月15日

各位

会社名 株式会社 中村超硬
代表社名 代表取締役社長 井上 誠
(コード番号：6166 東証マザーズ)
問合せ先 取締役社長室長 藤井 秀亮
(TEL：072-274-1072)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

下記のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時	2020年5月15日 15:45 (動画公開日時)
開催方法	決算説明動画の配信
動画掲載場所	自社ホームページ (http://www.nakamura-gp.co.jp/)
動画 URL	http://www.nakamura-gp.co.jp/ir/movie.html
説明会資料名	2020年3月期 決算説明

【添付資料】

- ・ 投資説明動画において使用した資料

以上

2020年3月期
決 算 説 明

株式会社中村超硬
(証券コード) 6166

業 績 報 告

連結P Lサマリー(前期比)



(単位：百万円)

	2019年3月期 (実績)	業績予想	2020年3月期 (実績)	対前期 増減額
売上高	4,809	2,800	2,797	△2,012 (41.8%減)
営業利益 (損失△)	△4,193	△600	△578	3,615
経常利益 (損失△)	△4,263	△780	△716	3,547
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (純損失△)	△9,721	△700	△600	9,121

セグメント別 売上高・営業利益（損失）



売上高

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比
電子材料スライス周辺事業	2,193	697	△68.2%
特殊精密機器事業	897	845	△5.8%
化学繊維用紡糸ノズル事業	1,711	1,242	△27.4%
その他（主に新規事業）	7	12	-
合 計	4,809	2,797	△41.8%

営業利益（損失△）

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期	前期比
電子材料スライス周辺事業	△4,327	△624	-
特殊精密機器事業	122	31	△73.9%
化学繊維用紡糸ノズル事業	393	149	△61.9%
その他（主に新規事業）	△403	△157	-
調整額	21	22	-
合 計	△4,193	△578	-

貸借対照表（連結）



（単位：百万円）

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額
流動資産	5,102	5,236	134
固定資産	2,808	1,241	△1,566
資産合計	7,910	6,478	△1,431
流動負債	5,030	3,050	△1,979
固定負債	4,209	2,904	△1,305
純資産	△1,329	523	1,852
負債・純資産合計	7,910	6,478	△1,431

主な 要因

資産の減少要因：和泉工場売却等に伴う固定資産の減少

負債の減少要因：借入金・リース債務の減少

純資産の増加要因：新株予約権の行使による資本金等の増加

キャッシュ・フロー計算書（連結）



（単位：百万円）

	2019年 3月期	2020年 3月期	ポイント
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,206	228	売掛債権の減少：673 たな卸資産の減少：368
投資活動による キャッシュ・フロー	△692	1,994	有形固定資産売却：1,878 投資有価証券売却：200
財務活動による キャッシュ・フロー	1,270	△699	リース債務返済：△1,253 短期借入金返済：△1,837 株式の発行：2,433
現金及び現金同等物の 増減額	△1,650	1,518	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,277	3,795	

債務超過解消に向けた当社の取組み

1.事業構造改革の実施

- ① ダイヤモンドワイヤ生産事業終了
- ② 受託合成事業からの撤退

2.和泉工場（D-Next）の譲渡

譲渡益 約**3.6**億円の計上

3.ダイヤモンドワイヤ 生産設備等の譲渡

2020年3月期に約**8**億円の計上

4.新株予約権の発行による 資金調達

合計**500**万株 約**29**億円調達
(2020年3月期調達額 約**24.4**億円)

債務超過の解消

純資産額

△ **13.29**億円

2019年3月末



5.23億円

2020年3月末

2020年3月期 セグメント別実績報告

電子材料スライス周辺事業

太陽光発電向けダイヤモンドワイヤ

特殊精密機器事業

耐摩耗部品／実装機用ノズル／MR装置

化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル／関連装置
(連結子会社 日本ノズル株式会社)

ダイヤモンドワイヤの市場価格の大幅な下落

太陽光発電向け
ダイヤモンドワイヤ生産事業
からの撤退（2019.12）

【事業規模の大幅な縮小】
人員縮小・主力工場売却

売上

697百万円（前期比△68.2%）

営業利益

△**624**百万円（前期△4,327百万円）

米中貿易摩擦・新型コロナの影響による
厳しい市場環境

工作機械向け耐摩工具

年度後半より落ち込み

産業機械向け
実装機用ノズル

「5G」関連分野需要の
高まりから売上増

売上

845百万円 (前期比△5.8%)

営業利益

31百万円 (前期比 △73.9%)

前期は
大型の不織布製造装置の
売上・利益を計上

米中貿易摩擦／新型コロナ
の影響による
案件中断や出荷遅延など

売上

1,242百万円（前期比 △27.4%）

営業利益

149百万円（前期比 △61.9%）

2021年3月期 事業戦略 及び 今後の見通しについて

電子材料スライス周辺事業

半導体向けダイヤモンドワイヤ／
ダイヤモンドワイヤ製造装置

特殊精密機器事業

耐摩耗部品／実装機用ノズル／MR装置

化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル／関連装置
(連結子会社 日本ノズル株式会社)

2021年3月期（予想）

売上高

650百万円

特別利益

750百万円

前提条件

中国への渡航制限が解除、江蘇三超社での作業実施後、
2021年3月までに残契約の完了

契約総額	2020年3月期 収益計上	2021年3月期 収益計上予定	
技術対価 約3億円	約1.5億円	約1.5億円	売上高 約6.5億円
一定の生産条件 達成時の対価 約5億円		約5億円	
設備売却対価 約14億円	約6.5億円	約7.5億円	特別利益 約7.5億円

新型ダイヤモンドワイヤ製造装置の開発

極細線ダイヤモンドワイヤ製造技術に関する優位性



新たなダイヤモンドワイヤ製造装置の開発への取り組み

半導体向けダイヤモンドワイヤの開発

太陽光発電向けダイヤモンドワイヤ製造技術



半導体向けダイヤモンドワイヤ開発への取り組み

2021年3月期（予想）

売上高

900百万円

前年対比

約6.5%増

米中貿易摩擦・新型コロナの影響

厳しい事業環境の継続

工作機械向け
耐摩工具関連

厳しい環境が継続

次世代通信規格
「5G」関連分野

電子部品は
好調に推移見込

中国など海外の
電子部品産業

販売強化

2021年3月期（予想）

売上高 **1,800**百万円 前年対比 約**45%**増

好調な受注環境

新型コロナによる世界的なマスク需要の高まり

不織布関連／国内外から多数の引き合い

不織布製造装置の受注決定など
15億円を超える受注を獲得済
(2020年4月末時点)

2021年3月期 連結業績予想について



(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2021年3月期 通期予想	3,350	300	200	700
2020年3月期 通期実績	2,797	△578	△716	△600
増減額 (百万円)	553	878	916	1,300
増減率 (%)	19.8	—	—	—

※江蘇三超社に関する案件の収益計上時期が不明なため、予想は通期のみの公表といたします。

新規事業

ナノゼオライト関連の進捗状況

ナノサイズ化で機能性をより高く、より多くの用途へ

通常のゼオライト

粒子径：3～5 μm



粒子数
約**100万倍**

外表面積
約**100倍**

機能性UP

ナノゼオライト

粒子径：50～100nm



東京大学との共同開発

特許取得済

粉碎・再結晶化プロセス

低コスト化を実現

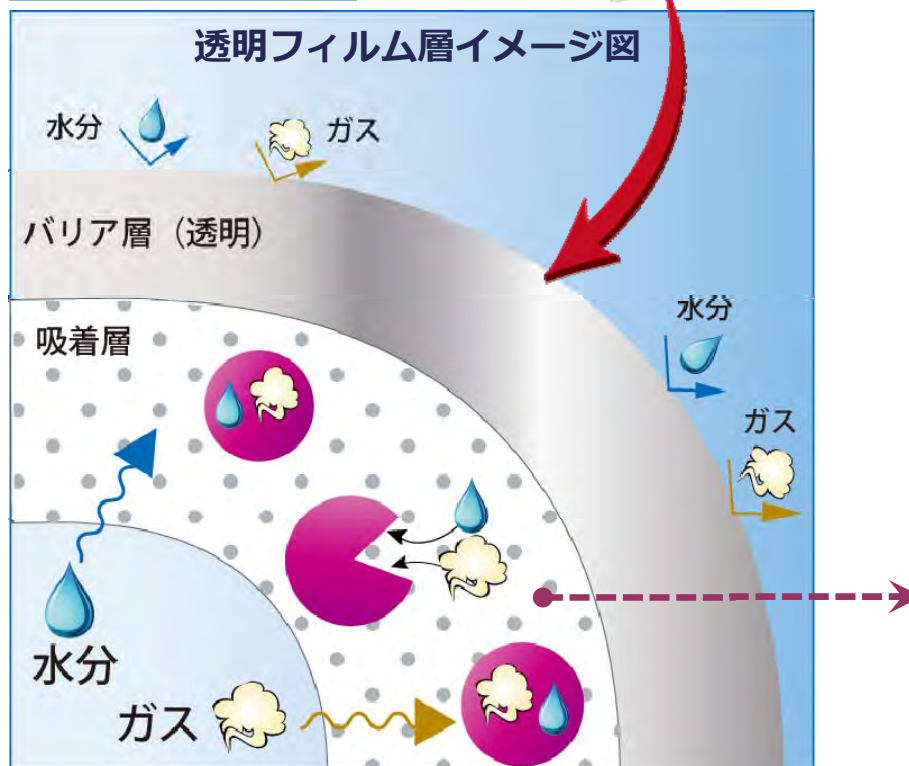
高機能フィルム関連

透明性を保ったまま内部の品質をキープ



フィルム外の臭いや水分をはじくバリア機能

+



 Zeal[®] の添加

ゼオライトの効果

 水分 内部の
ガス ガス・水分を吸着
中身の品質をキープ

+

ナノ粒子の効果  透明性の付与

リチウムイオン電池

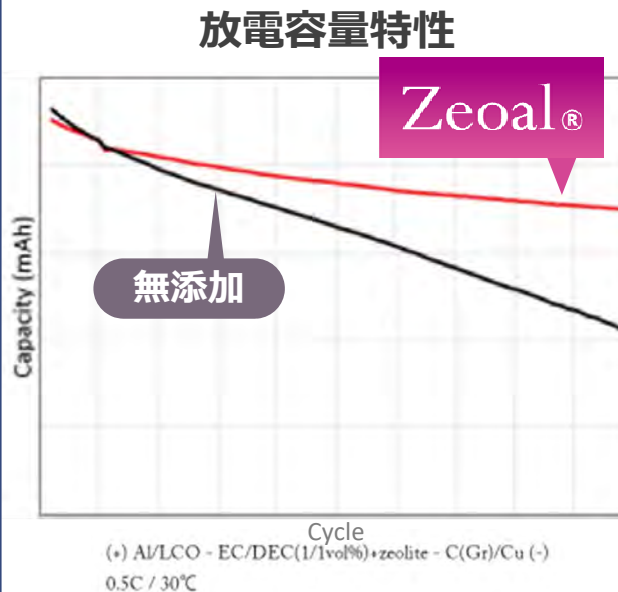
発熱を抑制し、電池寿命を長く



リチウムイオン電池

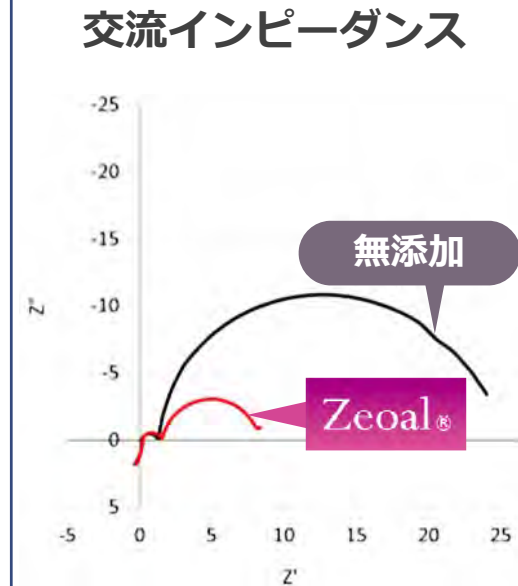
狭小スペースへの
添加が可能

高い分散性から
少量で高機能



放電容量低下を抑制

寿命延長



内部抵抗の低減

発熱抑制

特許出願中

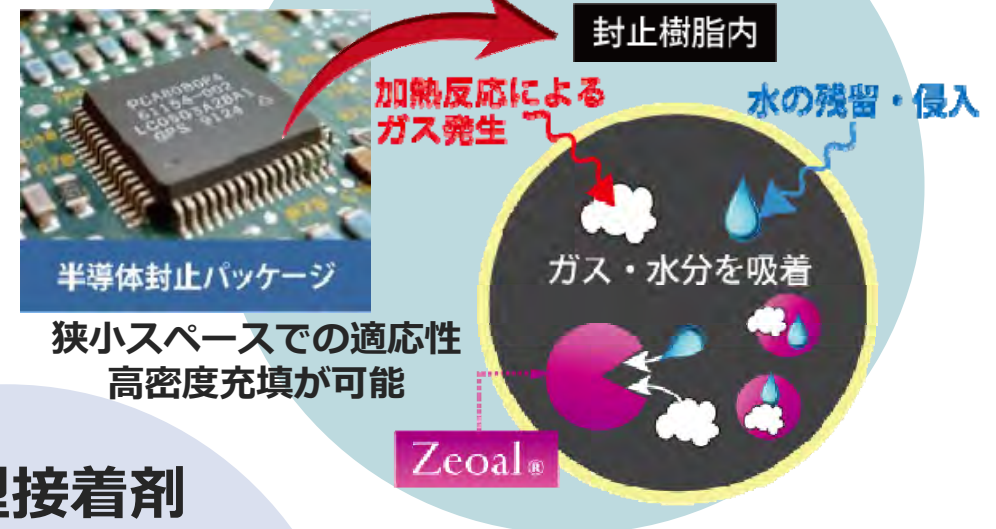
温感製品

水分と混ざること発熱



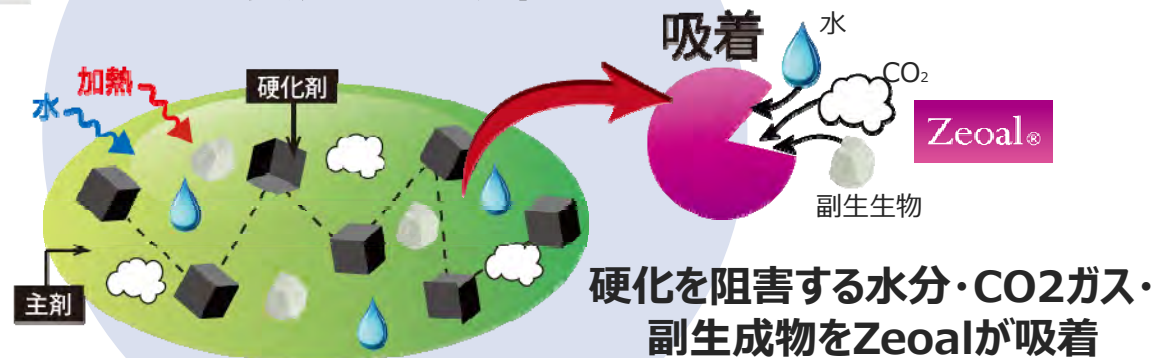
封止材

配線腐食や割れの防止



二液型接着剤

安定的に硬化





科学技術振興機構

産学共同実用化開発事業 **A-STEP** ▶

成功認定

多数企業よりサンプル提供要請

Nano-sized Zeolite
Zeoal®

現在、
約50社でサンプル評価中



2022年3月期の事業化を目指す

継続企業の前提に関する注記

2020年3月期末において債務超過は解消

しかしながら

当社グループ有利子負債 約45.9億円

ダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡未完了

当社の取組み

江蘇三超社へのダイヤモンドワイヤ生産設備等の譲渡完了

財務基盤の安定化に向けた諸施策の検討

業績及び財務状況の改善に努めてまいります

本資料の取扱いについて

- 本資料に掲載している情報は、株式会社中村超硬（以下、当社）の経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。